

自然ふれあい体験会の参加者にインタビュー！

葉山の森では、主に親子を対象とした「自然ふれあい体験会」を、年4回実施していく予定です。今回は11月16日に実施した、秋の自然ふれあい体験会にお越し頂いた2組の親子に「暮らし×自然」をテーマにインタビューをしました。



大和ハウス工業
呉山さん親子

ダイワロイヤル
佐山さん親子

大和ハウス（以下 DH）：まず、自然にふれあう機会を作られたきっかけを教えてください。

呉山さん：私は自然が元々好きで、家族でキャンプなどに行っています。自然から離れた生活が続くと、ストレスが溜まって体がおかしくなる気がするんですよ。そんなとき、山や森に行くと、心身がリフレッシュされて、仕事でも良いアイデアが浮かぶようになります。また、仕事中にイライラしても、自然のことを思い出すことで穏やかになります。自然とふれあう時間があることで、仕事でも生活の中でも良い循環が生まれるというのは、日々実感しています。子どもには、豊かな感性を身につけてほしいので、積極的に足を運ぶようにしています。

佐山さん：私は子どもが生まれてから自然にふれあう時間を作るようになりました。私自身は自然の豊かな場所で育ちましたが、子どもは都会育ちで、自然はただ通りすぎる風景でしかないんです。どんな虫がいて、どんな草木があって、という体験をしたことがない。これはいけない！と思い、家族で一緒に自然にふれあう時間を作っています。

DH：お二方とも、子育てをする上で積極的に自然とふれあう機会を作っているということですが、普段のご家庭の中と自然の中で、お子さんとのコミュニケーションの違いはありますか？



◀ササ鉄砲作成中。
ノコギリの使い方も実際にやってみて、体で覚えていきます。



▲一緒に作ったササ鉄砲。
うまく飛ばかな？

呉山さん：自然の中では、子どものありのままを見ることができると思います。授業参観も行きませんが、断片的な姿しか見ることができません。今日は、初めて会う同年代の子がたくさんいましたが、自然の面白さに引き込まれていくうちに、最初の恥ずかしさを忘れてどんどん友達になっていく様子を見ることができました。普通、そんな瞬間は見られないと思いますが、そうさせるのも自然の力なのかもしれないですね。

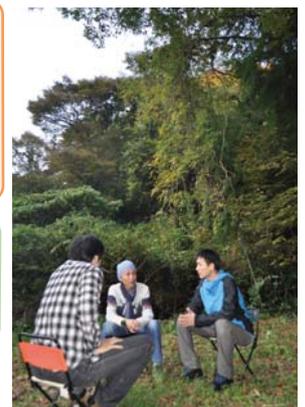
佐山さん：自然の中にいるときは、親も気持ちが開放されていますから、親もありのまま楽しんで子どもと接しているというのが、家の中と違うかなと感じます。だからこそ、新しい一面をたくさん見ることができそうです。6月の「自然ふれあい体験会」にも参加しましたが、子どもが虫や植物にすごく興味を持ったこと、講師の方のお話を面白そうに聞いていたことには、私自身とても驚きました。虫を触れないところは、やっぱり都会っ子なんですけどね。

DH：自然には心を開放する力があるのかもしれませんが、では最後に、葉山の森に期待することを教えてください。

呉山さん：大和ハウス社員としての意見になりますが、「葉山に森を持っている」ことは大和ハウスにとって貴重な財産だと思います。一方で、持続的に手間隙をかけないと美しい自然は保てないと思うので、地域と会社が協力して整備をし、この自然を地域の方やお客様に還元していけば、大和ハウスのブランド力向上につながると思います。今回、初めて葉山の森に来ましたが、子どもがいるご家庭は、ぜひ森に来てほしいですね。おすすめですよ！

佐山さん：子どもを主体にした観察会などは、このまま続けてほしいです。ボランティアの整備も家族と一緒に楽しみながら参加して、整備をすることでまた森の生きものとふれあえる「楽しみをつなぐ」活動なんだと思えたらそれもまた楽しいと思います。

DH：「葉山の森」では、森を守る活動は地球のためになるだけではなく、楽しい体験にもなるということが実感できるフィールドづくりをしたいですね。とても貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。



▲自然と子育てについて語り合う、3名のお父さん達。

「めぐりの森」で茅葺き屋根づくりが行なわれました！



▲竹の骨組みに茅を積み、藁縄で屋根を縫ったもの。

*めぐりの森とは、三浦半島の湘南国際村の中にある約112haの広大な森（神奈川県所有）です。植林活動や観察会、その他幅広く活動が行なわれています。
【めぐりの森HP】 <http://megurinomori.net/>

11月22～24日に、葉山の森の近隣にある湘南国際村「めぐりの森」で、「オータムフェスタ 2013」が開催され、様々なイベントが行なわれました。そのうちの「茅葺き体験ワークショップ」についてご紹介します。

茅葺きって？

昔の人は、身近な自然から資源を得て生活していました。家づくりも同じく、森の中に「茅場」をつくり、茅を育てて、刈り、茅葺き屋根にしていました。茅場は、人が定期的に入手入れをしていましたが、今では雑木林になっています。めぐりの森では、茅場特有の生態系を維持するため、ボランティアにより入手入れがなされています。



参加者の感想

屋根を葺く作業は、屋根を縫うための縄から手作りし、茅もかなりの重さになり、とにかく時間と手間のかかる大変な仕事だと分かりました。昔の人の根気強さを身をもって実感することができました。

「葉山の森」周辺エリアの魅力⑪～レストランセカンドハウスHa・Ya・Ma～

プロジェクトの紹介と併せて周辺の名所・見所やプロジェクト関連人物・団体などをご紹介していきたいと思います。第11回は「レストラン セカンドハウスHa・Ya・Ma」です。



▲外観：庭の奥から道側を臨むアングル。植木もテラスの家具も、シェフのこだわりが感じられます。



▲店内：古民家の梁や古い建具が温かい雰囲気漂っています。

レストラン セカンドハウス Ha・Ya・Ma

2012年11月にオープンした、レストランセカンドハウス Ha・Ya・Ma は、県道から山道に向かう途中にある、古民家を改装した懐かしさの漂うレストランです。季節や地域にこだわって選んだ食材や、レストランの前の畑で育てた野菜などを使って、その都度、食材を活かして丁寧に調理します。ときには一品作るのにも一日がかりで仕込むそう。お客さんの好みに合わせて、和食か洋食で選択できるのも魅力的です。完全予約制だからこそ、その日のお客さんと食材に真摯に向き合ったこだわりのお料理を楽しむことができます。



▲オードブルはバイキング形式で楽しめます。一品一品、素材の味がしっかりとのお料理です。



▲シェフのお2人。洋食担当（左）と和食担当（右）とそれぞれの得意分野を活かしながらお料理を提供されています。

【アクセス】JR横須賀線「逗子駅」より、京浜急行バス「衣笠駅」行き⇒「木古庭」バス停で降車。バス停より徒歩3分。
衣笠・汐入方面からは京浜急行バス「逗子駅」行き、または「湘南国際村センター」行き⇒「木古庭」バス停で降車。
【住所】〒240-0114 神奈川県三浦郡葉山町木古庭507 【TEL】046-897-0333 【URL】<http://www.sch-hayama.jp/>
【営業時間】11:00～16:00、17:00～21:00（第1・3日曜日、月曜日定休）★完全予約制★

2013年最後の葉山の森だよりとなりました。2014年も張りきって発行してまいりますのでよろしくお願いたします。それでは、メリークリスマス！そして、良いお年をお迎えください！



大和ハウス工業株式会社 東京都開発部/CSR部

東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 〒102-8112 Tel 03-5214-2160 Fax 03-5214-2169
建設業許可番号・国土交通大臣許可(特-22)第5279号 宅地建物取引業者免許番号・国土交通大臣(14)第245号
www.daiwahouse.co.jp